

## 宮崎県気候変動適応センター通信 第11号

## 気候変動に適応した施策が全国で展開されています

「A-PLAT」（気候変動適応情報プラットフォーム）では「適応策データベース」において、国や自治体、その他事業者等による適応の取組事例を紹介しています。国内及び海外における農業、森林・林業、水産業をはじめとする8分野76件の適応策事例が閲覧できます。

宮崎県における取組事例も紹介されていますので、活用して適応についての理解を深めてみませんか。

## 事例1 ～ライチの産地化（宮崎県）～

宮崎県では、地球温暖化を逆手に取った亜熱帯性果樹の生産に取り組んでいます。



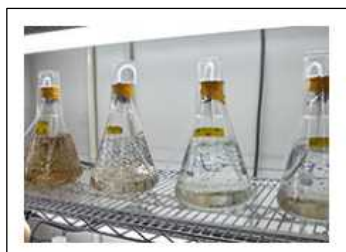
## 事例2 ～わさびの品種育成（静岡県）～

静岡県では、耐暑性を持ち、渇水などの不良環境に適応できるわさび品種を育成しています。



## 事例3 ～高水温耐性品種ワカメの開発（徳島県）～

徳島県では、高水温でも育ちやすい新品种ワカメを開発しました。



## 事例4 ～観光地の日傘レンタル（埼玉県熊谷市）～

熊谷市では、観光地である歓喜院聖天堂の門前町で日傘のレンタルを行っています。



## 事例5 ～「田んぼダム」の整備（新潟県）～

新潟県では、洪水対策として「田んぼダム（水田洪水防止機能）」の整備を進めています。



## 事例6 ～東京メトロの水害対策（東京都）～

東京メトロでは、駅の出入り口を歩道より高い位置に設置するなどの水害対策を導入しています。



〈出典〉「A-PLAT」（気候変動適応情報プラットフォーム）

「A-PLAT」（気候変動適応情報プラットフォーム）はこちら↓

<https://adaptation-platform.nies.go.jp>

## 宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin@pref.miyazaki.lg.jp